

讀者記

◆郵便物に就て

す、貴下方は年子を安産する事に鈎を用ゐる様子する悪魔であります。年月がありまつて、而して伯國に自然の平和を告ぐる貴下方に日本へ御歸りになつて四十女の間に侍る方が適役でせう、速く御朝なされは如何です。先生達が澤山視察とか研究とか國に来られます、視察ならば研究ならば研究の一つであります。かに視察や研究の一つであります。なるべき苦の人々が方向轉換の來る人もの方へ轉換の方へ轉換の色の酒の味を研究したり黒白の者や研究ばかりは情けない事はありませんか、然しこんな事はでもよいとして、私は私の所もべくノロエステに行きました。諸君の働きの実際を見て参りました處はパウル一を行きました。十八キロメートルのエートル、ル一驛を奥へ一レーダーが這入ったイタコロミー殖民地と云ふた方が直ぐ合點殖民地と云ふた方が直ぐ合點せうが、此處にはお馴染の上空木の兩氏の指揮の下に幾多の破木が空高く聳ゆる大樹やトツ木がイツベーの古木を截り倒して青い毛氈の様な烟を造つておます。(續)

後之を尻拭ひに使用する者がある
外に新聞雑誌の窃取りは殆ど公然の如
祕密事でありますから、今後斯の如
きは破廉恥漢の出ない様に貴紙に書い
し頂きたい、猶ほそれでも利目がな
れば姓名を書き送ります（慷慨生
信書の祕密は近世文明の惠賜とも
云ふべきもので、國家でも法律に
定めたる場合の外は決して信書の
祕密を侵かすことが出来ないので
あるから、此の大切な郵便書類を
個人が獨りに開剥き、又は破毀で
其の秘密を侵すことは刑事上輕か
らざる犯罪行為であると共に、野
蠻人の所爲として文明人一般の忌
み嫌ふ所である。

第三條 學部には研究科を置くべし
學部は法學、醫學、工學、文學、理學、農學、經濟學及商學の各科す
特別の必要ある場合に於て實質數個の學部を置きたる大學に於く規模一學部を構成するに適するときは前項の學部を分合して學部設くることを得
第四條 大學は帝國大學其の他官のもの外本令の規定に依り公又は私立と爲すことを得
第五條 公立大學は財團法人の必要ある場合に於て北海道及び府縣に限りを設立することを得
第六條 私立大學は財團法人たるものを要し特別の必要に因り學校經營のみを目的とする財團法が其の事業として之を設立する場合は此の限に在らず
第七條 前條の財團法人は大學に要なる設備又は之に要する資金少くとも大學を維持するに足るべき收入を生ずる基本財産を有することを要す
第八條 公立及私立の大學の設立止は文部大臣の認可を受くべし
第九條 學部に入學することを得者は當該大學豫科を修了したる高等學校高等科卒業したる者又文部大臣の定むる所に依り之等以上の學力ありと認められたる者とす
入學の順位に關する規程は文部大臣之を定む
第十條 學部に三年以上在學し一年以上の試験を受け之に合格したる者學士と稱することを得
第十一條 研究科に入ることを得者は醫學を修むる者に在りては三年以上其の他の者に在りては三年以上當該部に在學し其の他相當學力を具へたる者にして當該學に於て適當と認めたるものとす
第十二條 大學には特別の必要ある場合に於て豫科を置くことを得大學豫科に於ては高等學校高等普通教育を爲す程度に依り高等普通教育を爲す

<p>第三十一条 大學豫科の修業年限は三年又は二年とす</p> <p>修業年限三年の大學生豫科に入學することを得る者は中學校第四學年を修了したる者又は文部大臣の定むる所依り之と同等以上の學力ありと認められたる者とす</p> <p>修業年限二年の大學豫科に入學することを得る者は中學校卒業したる者又は文部大臣の定むる所依り之と同等以上の學力ありと認められたる者とす</p> <p>第十四條 大學豫科の設備、編制、教員及教科書に付ては高等學校高等科に關する規定を準用す</p> <p>第十五條 大學豫科の生徒定數は毎年豫科修了者の員數が其年當該大學に收容し得る員數を超過せざる程度に於て之を定むべし</p> <p>第十六條 大學及大學豫科の學則は法令の範圍内に於て當該大學之を定め文部大臣の認可を受くべし</p> <p>第十七條 公立及私立の大學には相當員數の專任教員を置くべし</p> <p>第十八條 私立大學教員の採用は文部大臣の認可を受くべし公立大學の教員にして官吏の待遇を受けざる者に付亦同じ</p> <p>第十九條 公立及私立の大學は文部大臣の監督に屬す</p> <p>第二十條 文部大臣は公立及私立の大學に對し報告を徵し檢閱を行ひ其の池監督上必要な命令を爲すことを得</p> <p>第二十一條 本令に依らざる學校は行す</p> <p>本令施行の際現に大學と稱し又は其の名稱に大學たることを示すべき文字を用ゐる學校には當分の内第二十一条の規定を適用せず</p>	<p>四年の一部科 者は同一の者であることを示すべき文字を用ひる</p> <p>接吻の後につかれたる眼の色を思はずるかな雨後の紫陽花。</p> <p>書寝覺めうつどりこして見る程によろしかこち咲ける紫陽花。</p> <p>紫陽花の色より悲し肺を病む女の白きたその顔</p> <p>南樹</p> 
---	--

衛生欄

高岡醫師

●問 サナダ虫の驅除法御教示願上
候(ばううりすたよ)

○答 最初に豫備として腹内を空虚にして置く必要があります。それに私は絶食するに及びません、一日乃至二日間全くの流動食例へば牛乳、葛湯の如きを取り、同時に一日一回午後に下の下し薬

Surfato de Magnesia 80 gr.
これを約一合近くの水に溶解して一

の連續は却て身體を破る結果が多くあります、ですから治療の手段としては第一に規則的生活を爲す事、身體を害ふと思考する凡てを廢止めることが土臺です、煙草も神經を害する方では筆頭に位するものですから早速に止める必要がありましやう、其後に冷水摩擦或は靜坐法などをを行つたら確かに神經衰弱を無くする事が出来るこ信じます。

八條 公立及私立の大學の設立
止は文部大臣の認可を受くべし
部の設置廢止亦同じ
前項の認可は文部大臣に於て勅
を請よべし

第九條 學部に入學することを得
者は當該大學豫科を修了したる
高等學校高等科卒りたる者又
文部大臣の定むる所に依り之
等以上の學力ありと認められた
者とす

第十九條 公立及私立の大學に於ける
監督者は同一である
大臣の監督に屬す
第二十條 文部大臣は公立及私立の
大學に對し報告を徵し檢閱を行ひ
其の訖監督上必要な命令を爲す
ことを得
第二十一條 本令に依らざる學校は
勅定規程に別段の定ある場合を除
くの外大學と稱し又は其の名稱に
大學たることを示すべき文字を用
うることを得ず

在東京伯國公使館員大武和三
實價 葡和辭

大學令公布

1

第十條 學部に三年以上在學し第一の試験を受け之に合格したる者
學士と稱することを得
前項の在學年限は醫學を修むる
に在りては四年以上とす

第十一條 研究科に入ることを得
者は醫學を修むる者に在りては三年以上其の他の者に在りては三年以上當該部に在學し其の他相當
學力を具へたる者にして當該學
に於て適當と認めたるものとす

第十二條 大學には特別の必要ある場合に於て豫科を置くことを得
大學豫科に於ては高等學校高等
の程度に依り高等普通教育を爲

本令は大正八年四月一日より之を施行す。本令施行の際現に大學と稱し又は其の名稱に大學たることを示すべき文字を用ゐる學校には當分の内第二十一条の規定を適用せず。

科
学
の
部
の
年
四
年
の
る
る
者
は
定
定
行
す

接吻の後のつかれの眼の色を思はず
るかな雨後の紫陽花。
書寝覺めうつとりこして見る程にま
ばろしかこち咲ける紫陽花。
紫陽花の色より悲し肺を病む女の白
きたそがれの顔。

南
樹



發送は着金順と定む
◎イグアベ植民地はイグア
◎リベイロン附近はリベイ
便宜申込ありたら
取次所
伯刺
No.

○葡和辭書

四
寸珍版美本
六百四十四

在東京伯爵館

國武和三郎氏

氏著

來り理想郷を作れ

11

●此間の貳等貨物は十糸百レイスなり
●「ジユキア」には停車場近くに小旅店二軒あり。宿料參
　鉤内外なるが投宿の際取極め置く方宜し。
●翌朝汽船又はガゾリンランシャにて「ジユキア」を立て
　ば當日「レヂストロ」に到着すべし

「イグアペ」植民地

地圖

伯刺西爾時報社營業部
Noticias do Brazil

◆鎌倉の別荘に居らつしやいまして、貴族院の開院中か御朋友又は御親に依るごとに本日午後六時に御受したかに處分方を講究中で交戦各國夫族の事故でもなければ御見えになり、お罷めになつてから始終お罷めになつても三日か四日で其間も書物か新聞でも御読みになり、なつて常に御部室へ閉籠つて居らます、本日授爵のあつたことは只今まで電話で御知らせがありました御電話で御詫びしならぬ様で御酒なんかも御召しになります常に御堅い一方の御方で御座います常に御子息の新八

◆趣味や嗜好等と云ふとは一向御在りにならない様で御酒なんかも御召しになります常に御堅い一方の御方で御座います常に御子息の新八様が邸内御新宅の方に居らつしやいます。が唯今は御病氣看護の爲め鎌倉に行つて居られます、旦那様は此の九日の夕方から御發病になつて時は却ち御悪かつたさうですが唯今在の處では大分良くなつたさうです、何分御老體の事で衰弱が甚いさうです、云々と語つた

◆潜航艇を日本にも分與

◆海軍では参考用にする意向潜航艇は全部聯合國に引渡すべしと云ふ聯合國側の提出せる休戦條件によつて、港に夫々廻航せしめ十二月一日まで從ひ獨逸は十一月十九日から各潜航艇所在地より英國南部のハーリツチ港に前後六回を以て總計百二十二隻を入港せしめたり然るにハーリツチ港は何分狹隘の爲先頃來之を聯合各國の港灣で管理するど云ふ議が出て居たが今度

◆愈實行され得其の一部は先づ第一に佛蘭西のシエルブールに抑留するこゝなり佛國の曳船用汽船五隻は各一隻の潜航艇を率ゐて同港に入つたのであるが今後右潜航艇は續々聯合國に入る筈で船の數は不明であるが無論日本へも抑留することとなるであらう右に就き某當局者は語る

◆鎌倉の別荘に居らつしやいまして、貴族院の開院中か御朋友又は御親に依るごとに本日午後六時に御受したかに處分方を講究中で交戦各國夫族の事故でもなければ御見えになり、お罷めになつてから始終お罷めになつても三日か四日で其間も書物か新聞でも御読みになり、なつて常に御部室へ閉籠つて居らます、本日授爵のあつたことは只今まで電話で御知らせがありました御電話で御詫びしならぬ様で御酒なんかも御召しになります常に御堅い一方の御方で御座います常に御子息の新八様が邸内御新宅の方に居らつしやいます。が唯今は御病氣看護の爲め鎌倉に行つて居られます、旦那様は此の九日の夕方から御發病になつて時は却ち御悪かつたさうですが唯今在の處では大分良くなつたさうです、何分御老體の事で衰弱が甚いさうです、云々と語つた

◆廻航することは随分大變なことはあるから成るべく堅牢なのが貴重に之が處分方を講究中で交戦各國夫族の事故でもなければ御見えになり、お罷めになつてから始終お罷めになつても三日か四日で其間も書物か新聞でも御読みになり、なつて常に御部室へ閉籠つて居らます、本日授爵のあつたことは只今まで電話で御知らせがありました御電話で御詫びしならぬ様で御酒なんかも御召しになります常に御堅い一方の御方で御座います常に御子息の新八様が邸内御新宅の方に居らつしやいます。が唯今は御病氣看護の爲め鎌倉に行つて居られます、旦那様は此の九日の夕方から御發病になつて時は却ち御悪かつたさうですが唯今在の處では大分良くなつたさうです、何分御老體の事で衰弱が甚いさうです、云々と語つた

◆女教員全盛

◆辭職相乘ぐ男教員も少くとも候補四五人の履歷書があること校長は候補者説索に四五日も駆け廻るごとに云ふ有様である其の結果トモ男子が見付からぬ時は今迄振向きもしなかつた女教員を拜み倒して引張つて来るど云ふ有様今に小學教育現に女教員でよいから三名許り世話を頼むほど云はれてゐます下などの教員缺乏も非常なもので當所卒業の要三郎氏は語る『市の小學校長から教員代用に使つて

◆十七・七八圓も出すと云つてゐます保母は高等小學卒業後一箇年の教養院で女學校卒業者なれば半ヶ年で出来て就職専科でさへ初任廿五圓保母を准

寄附金 一百万圓 ◇新潟縣富豪中野貫一氏
越後中蒲原郡金津村の富豪中野貫一氏（寶田石油會社取締役、日本石油會社監査役）は七十萬圓を新潟縣育費に又三十萬圓を中蒲原郡の公事業に夫々寄附する旨申出たりと△御みやげ物には峯月堂の△高尚で、安くて、いいしー△御菓子にかざる
製造販賣元 峯月堂 御菓子にかざる
聖市コンデ、サルゼイダス五三二△紅梅饅頭、滋養饅頭
△京鹿の子、青柳餅△蒸金鑄、蒸羊羹、其他
室内外に改良を加へ取扱ひ丁寧に可致候間
御投宿被下度願上候
聖市コンデ街四九
上地彌藏
郵函一二二五番
電話五七〇一ラル
写眞 石井寫眞館
Praha da Republika 85
尚ほ旅宿者の便を計る爲め
今回聖市的事情に委しき人
を雇ひれ買物その他一般の
案内手引を致すべく候
聖市コンデ街六九
大和撫子いろかへな
遠い他國へ咲いたも咲いた
月見亭 旅館、和洋御料理
電話四五五九セントラル
野村

● 金銀貨多少に拘らず兩替可申上候
● ブラジル語獨習
紙數三百十二頁 送料共六ミル
發行所 東京 秀英舎
土佐録及大工具類化粧品書籍類
◆ 各種種物
◆ 大根之部
大王かぶら〇結球豊玉白菜〇白莖三
河島菜〇直隸白菜〇白菜〇天王寺か
ぶ〇小松菜〇千筋京菜〇山東菜〇朝
鮮白菜〇白基體菜〇絆のかぶ〇近江
かぶ〇胡南かぶ〇大長がぶ〇時なし
かぶ〇黃金かぶ〇大平莖ふだん草〇
日本ふだん草〇たかな〇結球山東菜
〇聖譙院かぶ〇大王白菜〇ちりめん
白菜〇黃からしな〇葉からしな〇以
上一合二ミル五百宛
◆ 瓜之部
○ちりめん南瓜〇大菊座南瓜〇大胡
瓜〇極早生黒川南瓜〇西京南瓜〇墨
皮西瓜(スイカフ)まくわうり〇黃金
千成胡瓜〇大へちま〇西瓜あいすく
りむ〇まうんてんすーと〇大丸の
いんげん〇お多福いんげん〇以上
うがは〇大長ゆうがは〇大どうがん
〇以上一合二ミル五百
● 貸本可仕候
◆ 豆之部
○白八つ房いんげん〇赤刀豆〇赤葛
無いんげん〇白蔓無いんげん〇白刀
豆〇鈴成いんげん〇お多福豆〇大玉
いんげん〇お多福いんげん〇以上
合二ミル五百
● 貸本可仕候
◆ ブラジル時報市内申込所
聖市コンデ
サルゼーダス街五番
木藤商會
R. C. Sarzedas S/I
S. Paulo

●日本金兩替

日本金兩督
金銀貨多少に拘はず兩替可申上候
ブ ラ ジ ル 語 獨 習
紙數三百十二頁 送料共六ミル

伯國の事情を知り、縣人の將來を思ふ人は決して契約を破つて逃げさせたり、ストライキを起させたりする様な事は爲ない。榮門松君は第一回移民として來伯した人で、サントス橋橋に働く事八九年、今は監督として上原直松君、だ宜しく、同君の周旋で仕事に就いて眞面目に縣人の發展と云ふ事に就いて心を勞して居る舊移民もかなり居るのであるが、私が特に茲に榮門君を擧げたのは此等の人々が如何に耕地を見て居るかと云ふ好適例である。

榮門君の弟が昨年契約移民として來た時、彼は其弟に何を教へたか?

曰く「以前はサントスも可なり好し金が取れたが、戰争開始以來と云ふものは、決して好い事はない、新移

民が耕地へ行つて一年間は、農具の買入れ、仕事の不慣などで残る金さ

いふもののは幾何もないでの、サント

スの一日五ミル七百レースを羨む心

も出るが、二年三年ご慣れるに従つてサントス以上に貯蓄が出来る様に

なる、よしや耕地は永久にサントス程金が残らないとしても、州政府の補助を受けて渡航して來たのである

から、契約年限だけはざうしても幸抱しろ、若し人の噂などを軽々しく信じて逃亡してサントスへ出て来る様な事があつたら私は承知しない、私は直ぐに仕事を止めた上に兄弟の縁を

断つて仕舞ふ」

何んど旺んな意氣ではないか、そして此兄にして此弟ありで、其弟の居

耕地では誰が何と云つてもサント

スへ出ようなど云ひ出すものもな

く、皆一生懸命に働いて居ることの事である。

座喜味盛章君も亦同様昨年來た弟を心得過ぎひのない様説き教へたので弟

は成績良好なコロノとして働きつゝあるのである。

私は此話を人傳に聞いて非常に心強く感じたのである。

同じく同郷人を愛する云ふ心も其

ひ、それに輶重輸卒ではおるしと思

勤き方に依つて非常な差を生ずるものである、されば今迄やつた事は致

た、そうして赤ん坊を抱えた戦死者

を起させた人々、これからは榮門君等の様な眞面目な考へを以て新移

民に接して貰ひたい。

榮門君の弟は此等の人々が如何に耕

地を見て居るかと云ふ好適例があるからである。

榮門君を擧げたのは此等の人々が如何に耕

地を見て居るかと云ふ好適例があるからである。

榮門君の弟が昨年契約移民として來

た時、彼は其弟に何を教へたか?

曰く「以前はサントスも可なり好し

金が取れたが、戰争開始以來と云ふ

ものは、決して好い事はない、新移

民が耕地へ行つて一年間は、農具の

買入れ、仕事の不慣などで残る金さ

いふもののは幾何もないでの、サント

スの一日五ミル七百レースを羨む心

も出るが、二年三年ご慣れるに従つてサントス以上に貯蓄が出来る様に

なる、よしや耕地は永久にサントス程金が残らないとしても、州政府の

補助を受けて渡航して來たのである

から、契約年限だけはざうしても幸抱しろ、若し人の噂などを軽々しく信じて逃亡してサントスへ出て来る様な

事があつたら私は承知しない、私は直ぐに仕事を止めた上に兄弟の縁を

断つて仕舞ふ」

何んど旺んな意氣ではないか、そして此兄にして此弟ありで、其弟の居

耕地では誰が何と云つてもサント

スへ出ようなど云ひ出すものもな

く、皆一生懸命に働いて居ることの事である。

座喜味盛章君も亦同様昨年來た弟を

心得過ぎひのない様説き教へたので弟

は成績良好なコロノとして働きつゝあるのである。

私は此話を人傳に聞いて非常に心強く感じたのである。

同じく同郷人を愛する云ふ心も其

ひ、それに輶重輸卒ではおるしと思

勤き方に依つて非常な差を生ずるものである、されば今迄やつた事は致

た、そうして赤ん坊を抱えた戦死者

を起させた人々、これからは榮門君等の様な眞面目な考へを以て新移

民に接して貰ひたい。

榮門君の弟は此等の人々が如何に耕

地を見て居るかと云ふ好適例があるからである。

榮門君の弟が昨年契約移民として來

た時、彼は其弟に何を教へたか?

曰く「以前はサントスも可なり好し

金が取れたが、戰争開始以來と云ふ

ものは、決して好い事はない、新移

民が耕地へ行つて一年間は、農具の

買入れ、仕事の不慣などで残る金さ

いふもののは幾何もないでの、サント

スの一日五ミル七百レースを羨む心

も出るが、二年三年ご慣れるに従つてサントス以上に貯蓄が出来る様に

なる、よしや耕地は永久にサントス程金が残らないとしても、州政府の

補助を受けて渡航して來たのである

から、契約年限だけはざうしても幸抱しろ、若し人の噂などを軽々しく信じて逃亡してサントスへ出て来る様な

事があつたら私は承知しない、私は直ぐに仕事を止めた上に兄弟の縁を

断つて仕舞ふ」

何んど旺んな意氣ではないか、そして此兄にして此弟ありで、其弟の居

耕地では誰が何と云つてもサント

スへ出ようなど云ひ出すものもな

く、皆一生懸命に働いて居ることの事である。

座喜味盛章君も亦同様昨年來た弟を

心得過ぎひのない様説き教へたので弟

は成績良好なコロノとして働きつゝあるのである。

私は此話を人傳に聞いて非常に心強く感じたのである。

同じく同郷人を愛する云ふ心も其

ひ、それに輶重輸卒ではおるしと思

勤き方に依つて非常な差を生ずるものである、されば今迄やつた事は致

た、そうして赤ん坊を抱えた戦死者

を起させた人々、これからは榮門君等の様な眞面目な考へを以て新移

民に接して貰ひたい。

榮門君の弟は此等の人々が如何に耕

地を見て居るかと云ふ好適例があるからである。

榮門君の弟が昨年契約移民として來

た時、彼は其弟に何を教へたか?

曰く「以前はサントスも可なり好し

金が取れたが、戰争開始以來と云ふ

ものは、決して好い事はない、新移

民が耕地へ行つて一年間は、農具の

買入れ、仕事の不慣などで残る金さ

いふもののは幾何もないでの、サント

スの一日五ミル七百レースを羨む心

も出るが、二年三年ご慣れるに従つてサントス以上に貯蓄が出来る様に

なる、よしや耕地は永久にサントス程金が残らないとしても、州政府の

補助を受けて渡航して來たのである

から、契約年限だけはざうしても幸抱しろ、若し人の噂などを軽々しく信じて逃亡してサントスへ出て来る様な

事があつたら私は承知しない、私は直ぐに仕事を止めた上に兄弟の縁を

断つて仕舞ふ」

何んど旺んな意氣ではないか、そして此兄にして此弟ありで、其弟の居

耕地では誰が何と云つてもサント

スへ出ようなど云ひ出すものもな

く、皆一生懸命に働いて居ることの事である。

座喜味盛章君も亦同様昨年來た弟を

心得過ぎひのない様説き教へたので弟

は成績良好なコロノとして働きつゝあるのである。

私は此話を人傳に聞いて非常に心強く感じたのである。

同じく同郷人を愛する云ふ心も其

ひ、それに輶重輸卒ではおるしと思

勤き方に依つて非常な差を生ずるものである、されば今迄やつた事は致

た、そうして赤ん坊を抱えた戦死者

を起させた人々、これからは榮門君等の様な眞面目な考へを以て新移

民に接して貰ひたい。

榮門君の弟は此等の人々が如何に耕

地を見て居るかと云ふ好適例があるからである。

榮門君の弟が昨年契約移民として來

た時、彼は其弟に何を教へたか?

曰く「以前はサントスも可なり好し

金が取れたが、戰争開始以來と云ふ

ものは、決して好い事はない、新移

民が耕地へ行つて一年間は、農具の

買入れ、仕事の不慣などで残る金さ

いふもののは幾何もないでの、サント

スの一日五ミル七百レースを羨む心

も出るが、二年三年ご慣れるに従つてサントス以上に貯蓄が出来る様に

なる、よしや耕地は永久にサントス程金が残らないとしても、州政府の

補助を受けて渡航して來たのである

から、契約年限だけはざうしても幸抱しろ、若し人の噂などを軽々しく信じて逃亡してサントスへ出て来る様な

事があつたら私は承知しない、私は直ぐに仕事を止めた上に兄弟の縁を

断つて仕舞ふ」

何んど旺んな意氣ではないか、そして此兄にして此弟ありで、其弟の居

耕地では誰が何と云つてもサント

スへ出ようなど云ひ出すものもな

く、皆一生懸命に働いて居ることの事である。

座喜味盛章君も亦同様昨年來た弟を

心得過ぎひのない様説き教へたので弟

は成績良好なコロノとして働きつゝあるのである。

私は此話を人傳に聞いて非常に心強く感じたのである。

同じく同郷人を愛する云ふ心も其

ひ、それに輶重輸

